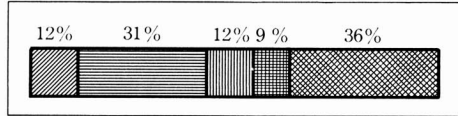
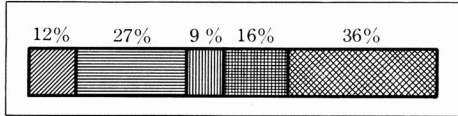


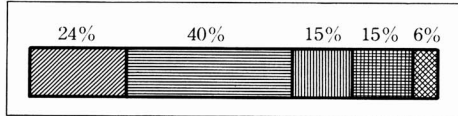
イ 環境衛生



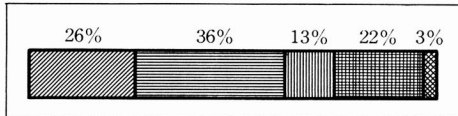
ウ 生活の安全



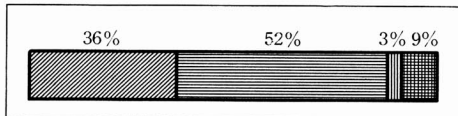
エ 健康な生活の設計と栄養



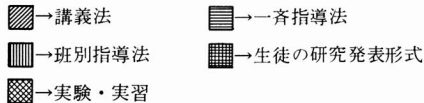
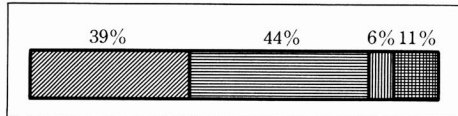
オ 病気とその予防



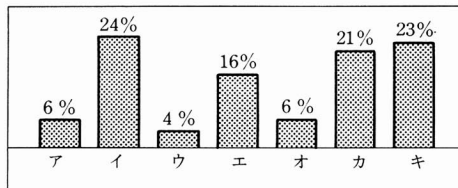
カ 精神の健康



キ 国民の健康

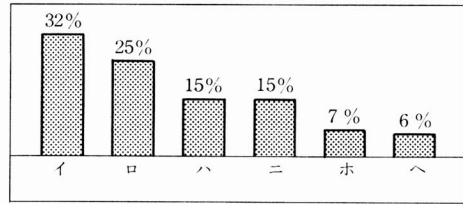


(2) 指導しにくい単元として「環境衛生」「国民の健康」「精神の健康」が指摘されている。



(ア～キは、(1)の単元名を示す)

(3) 指導しにくい理由は「生徒が興味を示さない」「教材・教具の不足」によるものが多い。



イ→生徒が興味を示さない ロ→教材教具の不足
ハ→教材研究の時間不足 ニ→教材内容の複雑さ
ホ→視聴覚教材が活用できない
ヘ→単元が地域の実情にあっていない

(4) 「掛図」「OHP」「スライド」などの視聴覚教材を利用している。

掛 図	42%
O H P	27%
スライド	20%
模 型	11%

(5) 理科、社会科と「協議している」ものが少ない。

協議している	37%
協議していない	63%

(6) 保健指導との関連を「考慮している」ものが多い。

考慮している	60%
考慮していない	40%

(7) 健康診断の結果を利用して指導にあっている。

利用している	82%
利用していない	18%

4. 保健の実験・実習

(1) 一酸化炭素、二酸化炭素の検査法、飲料水の検査法の実験・実習の実施率は低い。